

松平地域会議の提言に対する市の回答

提言内容 こどもの施策に関すること（構想 方針 2-1 地域ぐるみの子育て支援）

行政に求める支援	豊田市こども・若者計画等こどもの施策は、子育てを取り巻く環境の多様化を考慮し、適宜当事者の声や地域の意見を吸い上げ、施策の立案や見直しなどに反映するとともに、各地域の子育て支援の取組がより良いものになるよう推進することが必要である。特に、子育て家庭と地域のつながりの希薄化の解消や仕事と子育ての両立支援に重点を置き、地域間の子育て環境の違いを解消する取組を推進することが必要である。
市の回答	子育てを取り巻く環境が多様化し、地域とのつながりが希薄化している中、安心して子育てできる環境の整備はこれまで以上に重要となっています。 こうした中、松平地域においては、松平こども園や各小学校の放課後児童クラブにおける児童の預かりや、地域の大人たちによるこどもの見守りの場として、地域子どもの居場所づくり事業を展開するなど、仕事と子育ての両立支援に取り組んでおり、今後もこういった取組を継続していく考えです。 あわせて、地域における子育て家庭の遊び・交流の場として、松平こども園を週2回開放しており、引き続き着実に取り組んでまいります。 豊田市こども・若者計画の推進に向けては、PDCAサイクルに基づき、取組の実施状況を毎年調査・公表することとしています。「豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議」を中心に、子育て当事者や地域の声など、多様な意見を取り入れながら、必要に応じて施策の立案や見直し等を行ってまいります。

提言内容 2 鳥獣害に関すること（構想 方針 4-1 鳥獣害対策）

行政に求める支援	松平地域の大きな魅力のひとつである豊かな自然環境を守り、農地を健全な状態に保つために、自然との共存を構想に位置付けているが、鳥獣害は依然増加の傾向にあり、より一層の対策が急務である。近年では、その被害が農業関係だけに留まらず、広く日常生活圏域にまで及んでおり、その対応には、地域・行政・猟友会等の更なる連携と体制の強化が必要不可欠である。ついては、豊田市鳥獣被害防止計画等の推進に加え、支援策の新設及び拡充や関連する窓口の一元化など、総合的な鳥獣害対策の仕組みの構築が必要である。
市の回答	貴提言のとおり、近年は野生動物の生息数や生息域が拡大しており、それに伴って農作物被害や生活環境への影響が増加しています。また、野生動物への対応は複数部署が個別に行っているため、市民にとって相談先が分かりにくい状況となっています。 こうした課題を踏まえ、相談・通報窓口の一元化による住民サービスの向上や野生鳥獣対策に関する知見の蓄積などを目的として、令和8年6月1日付けで農業振興課内に「野生動物相談窓口」を新たに設置しました。 さらに、本年度は庁内関係課による横断的な組織として「野生鳥獣等対策協議会」を設置し、支援策の検討などを進めてまいります。 今後も豊田市鳥獣被害防止計画を着実に推進するとともに、総合的な鳥獣害対策の仕組みづくりに取り組んでいきます。